

外来新規患者下半期診療実績 (2022年10月～2023年3月/前年同期比較)

1) 総数

	2021年10月～2022年3月	⇒	2022年10月～2023年3月
総数	423人	⇒	438人
男性	152人	⇒	184人
女性	271人	⇒	254人

2) 診断

ICD 10	2021年10月～2022年3月	⇒	2022年10月～2023年3月
認知症 等	122人 (男41・女81)	⇒	115人 (男44・女71)
薬物等の中毒症 等	3人 (男2・女1)	⇒	0人 (男0・女0)
統合失調症 等	41人 (男14・女27)	⇒	54人 (男20・女34)
うつ病・躁うつ病 等	113人 (男35・女78)	⇒	116人 (男48・女68)
不安障害・神経症 等	89人 (男27・女62)	⇒	93人 (男42・女51)
心因反応 等	5人 (男1・女4)	⇒	2人 (男1・女1)
パーソナリティ障害 等	3人 (男2・女1)	⇒	2人 (男1・女1)
知的障害 等	13人 (男10・女3)	⇒	11人 (男6・女5)
発達障害 等	11人 (男8・女3)	⇒	18人 (男10・女8)
小児等の行動障害 等	8人 (男5・女3)	⇒	7人 (男3・女4)
その他	15人 (男7・女8)	⇒	18人 (男8・女10)
健康診断	0人 (男0・女0)	⇒	2人 (男1・女1)

3) 年齢

年齢層	2021年10月～2022年3月	⇒	2022年10月～2023年3月
10代	25人 (男12・女13)	⇒	20人 (男9・女11)
20代	75人 (男28・女47)	⇒	78人 (男36・女42)
30代	47人 (男20・女27)	⇒	48人 (男19・女29)
40代	49人 (男18・女31)	⇒	61人 (男29・女32)
50代	48人 (男15・女33)	⇒	35人 (男18・女17)
60代	20人 (男8・女12)	⇒	24人 (男10・女14)
70代	57人 (男20・女37)	⇒	64人 (男24・女40)
80代	85人 (男22・女63)	⇒	87人 (男32・女55)
90代	17人 (男9・女8)	⇒	21人 (男7・女14)

令和4年10月～令和5年3月も、新型コロナウイルス流行の大きな波がありました。同年度上半期・前年度同時期と比較して外来新規患者総数は大幅な増減は認めませんでした。診断や年齢層の内訳も傾向は同様で、大きな変化は認めませんでした。

ご案内

- 自家用車、タクシーをご利用の方は、南郷通からお越しいただくと便利です。
- 地下鉄ご利用の方は、東西線大谷地駅で下車して5番出口より徒歩 約10分です。
- 北広島、南幌、長沼方面からはJRバスで大谷地バスターミナルまでおいでください。
- 診療科目：精神科、心療内科、内科

当院は予約制となっております。
初診の方も事前にご予約の上ご来院ください。
診療受付時間 (平日) 9:00～11:30
13:00～16:30
(土曜) 9:00～11:30
* 日曜・祝日はお休みです。



〒004-0041
札幌市厚別区大谷地東5丁目7-10
TEL : 011-891-3737
FAX : 011-891-3868
* 診療予約専用 TEL : 0120-489-892
<http://www.ohyachi-hp.or.jp/>

大谷地ふれあい通信



編集／大谷地病院広報委員会
発行／重仁会 大谷地病院

2023年6月 第74号

メンタルケア講座

「アルコール依存症と孤独」

飲酒の歴史は古く、一説には一万年前の先史時代から人はアルコールを楽しんでいたといわれています。「酒は人類の友」だとか「酒は百薬の長」といいますが、飲み会でのトラブルや二日酔いなど、厄介な一面もあることは皆さんご存知の通りです。

特に依存症の問題は、これまで様々な場所で取り沙汰されてきました。アルコール依存症とは、「アルコールの継続的な使用により、飲酒への欲求が強くなり（精神依存）、離脱や耐性（身体依存）が生じ、飲酒を適切にコントロールできず、社会生活や健康に問題が生じている状態」のことを指します。何気なく飲んでいたものがいつの間にか手放せないものになり、身体や対人関係のさまざまな問題を引き起こすのです。日本では、アルコールは20歳になれば簡単に手に入れることができ、私たちの誰もがアルコール依存症になる可能性があるのです。

昨今、アルコールだけでなく、薬物やゲーム、スマホ、ギャンブルなどの依存にも、背景には当人の孤独があることがわかってきました。「誰にも理解してもらえない」「自分の人生に居場所がない」といった一人では抱えられない孤独が根底にあり、依存の問題は表に現れた一部分にすぎないという考え方です。そう考えると、当人は飲酒ではなく孤独や不安に苦しんでいるわけですから、「酒の問題じゃない」と人の意見に耳を貸さないように見えてしまうのも当然のことです（実は本人も飲酒の問題には気付いていることが多いのです）。

こういった、自分では飲酒が問題だと捉えられない『前熟考期』では、飲酒自体よりも、本人の悩みや関心ごとについて耳を傾けることが大切とされています。本人が安心して自身の本音を話せるような関係を作ることが最優先にし、その上でお酒が身体に与える悪影響や、影響の少ない飲み方について相談するのです。とはいえ家族や友人の努力だけでは、新しい関係をつくるのが難しいのも事実でしょう。本人や周囲の方に加え、医療者や自助グループとのつながりの中で、「依存」の奥底にある孤独は癒えていくのだと考えています。

精神科医師 松本 和樹・古賀 公基

- メンタルケア講座
- 新任医師のご挨拶 (松本Dr./古賀Dr.)
- 令和5年度家族の集いのお知らせ
- 病棟よもやま話
「コロナの前とあと」 第5病棟
- 大谷地川柳
- 外来診療実績 (2022.10～2023.3)



新任医師のご挨拶

令和5年度4月に就職いたしました松本和樹(まつもと かずき)と申します。長崎で生まれ育ち、長崎大学医学部を卒業、同大学附属病院で2年の初期研修と、一年間の精神科医としての臨床経験を経て、この度故あって後期研修医として大谷地病院にて働かせていただくこととなりました。

学生時代より精神科医を志し、患者さんや家族の方々の苦悩や生活に向き合うべく研鑽を重ねておりましたが、北海道という新たな土地で働くにあたり、また一から学び直すつもりで、初心に振り返りたいと思っております。

九州から出て生活した経験のない身ゆえ、まずは寒さや風土に慣れることに苦闘しておりますが、地域の皆様方の生活の一助となれるよう、一生懸命に頑張りたいと思っております。何卒よろしくお願いたします。

精神科医師 まつもと かずき
松本 和樹

本年4月に就職いたしました古賀と申します。長崎大学を卒業後、初期研修医として離島で幅広い医療を経験した後、精神科医となりました。当初は長崎で勤務しておりましたが、この度ご縁を頂き、札幌に参りました。

内科、外科、精神科等、非常に多くの領域に多様な病気がありますが、どの病気にも遍く、苦勞をもたらすということは共通しております。初期研修の折にも、患者さんやご家族の様々な苦勞に触れて参りました。その中で、私は、その時々の方々の治療方針のみならず、治療後の生活や、ご本人やご家族の幸福等について考え悩むことが多く、精神科を志す動機となりました。

何を幸福とするかは、人それぞれ違う形があり、とうてい医療者が定められることではないと考えております。しかし、苦悩に向き合うこと、幸福を願う気持ちを支えるお手伝いはできるのではないかと思います、日々診療に努めております。

若輩ではございますが、少しでも皆様のお力になることができると存じております。どうぞよろしくお願い致します。

精神科医師 こが こうき
古賀 公基

病棟よもやま話 コロナの前とあと (第5病棟)

世界的なコロナ感染症の流行により、世の中が大きく変わりました。ようやく、2類から5類となり今後、様々な面での対応も変わっていくでしょう。

当病棟は入院が長くなっている患者様が多くいらっしゃいますが、その中にも退院を視野に入れて動き始めている方がいます。約3年ぶりに病棟スタッフと外出したある患者様が一番戸惑っていたのは、セルフレジとのことでした。確かに3年前、セルフレジは、あまり身近なものではありませんでした。今ではスーパーやコンビニなどで多くみかけます。お金の支払いは人対人の時代から、機械相手に支払うことが当たり前になりました。

私たちスタッフは病院を出れば、地域の生活者としてその変化を日々受け入れてきました。しかし、入院が長くなっている患者様たちに世の中の変化を伝えることをしてこなかったと改めて感じました。

初めて銀行にATMが登場したのは46年前だそうです。その頃もATMでの操作になかなか馴染めなかった記憶があります。最近、ATMから送金を試みたら「その振り込みは詐欺ではないですか」のメッセージが何度も出ました。

このような世の中の変化も患者様に伝えていかなくてはいけないなど実感しています。

第5病棟看護師長 山本淳子



大谷地川柳

クラスタに懲りてパンも箸で持ち
永井万智次官

新人に陰でエールを親ごころ
先輩ナース

目に見えぬ重荷を軽くする仕事
白米は元気の源

この春に値上がりしないの給与だけ
侍大谷地



令和5年度家族の集いのお知らせ

当院では毎月第2火曜日に家族の集いを行っています。当院に通院中・入院中の患者様のご家族であれば、どなたでも参加いただけます。患者様のことはあまり周囲の人には話せない、というご家族様も多くいらっしゃいます。日々の困りごとや悩んでいること、嬉しかったこと等、同じ立場のご家族様同士、気兼ねなくお話してみませんか？

ご予約は不要です。当日、お時間にお集まりください。(遅刻・早退もOKです!)

今後の開催予定

6/13	11/14
7/11	12/12
8/8	1/10
9/12	2/13
10/10	3/12

毎月第2火曜日
13:00~15:00
大谷地病院外来棟2階
大会議室